



# 国際ソロプチミスト盛岡 認証40周年記念式典

2013年10月26日(土)

ホテルメトロポリタン盛岡



## ソロプチミスト誓約

私達は ソロプチミストとしてソロプチミズムに忠誠を誓い

真摯なる友情  
偉業達成の喜び  
奉仕の尊さ  
誠実な職業  
国 土 愛

等を強調する その理想に忠実に従います。

私達は最善をつくして、これらの理想を促進し、支持し、擁護し  
家庭・社会・実業界に於いてより大きな友情を築き、国家の為、  
神の為に努力致します。

# 国際ソロプチミスト盛岡認証40周年記念式典プログラム

登 録 10：30～10：50

式 典 11：00～11：50

会 場 / ホテルメトロポリタン盛岡4F「姫神の間」

司 会 / 上 原 千鶴子

## 式 次 第

1. 点 鐘・開会宣言 会 長 吉田 富士
2. 国 旗・会旗に礼
3. 国 歌 斉 唱
4. ソロプチミストシンフォニー斉唱
5. 来 賓 紹 介
6. 国際ソロプチミストアメリカ日本北リジョン役員・歴代ガバナー・常任委員紹介
7. 国際ソロプチミストアメリカ日本北リジョン出席クラブ紹介
8. 会 長 挨 拶 会 長 吉田 富士
9. 来 賓 祝 辞 岩手県知事 達 増 拓 也 様  
盛岡市長 谷 藤 裕 明 様  
衆議院議員 鈴 木 俊 一 様  
日本北リジョンガバナー 遠 藤 妙 子 様
10. 日本北リジョンより「記念盾」授与
11. 国際ソロプチミストアメリカ連盟会長メッセージ
12. 40周年記念事業報告 40周年実行委員長 篠 村 千 恵 子
13. 目 録 贈 呈 会 長 吉田 富士
14. 40周年寄付金贈呈 会 長 吉田 富士  
国際ソロプチミストアメリカ日本北リジョン  
公益財団法人 ソロプチミスト日本財団  
社会福祉法人新生会 みちのく療育園  
いわてピンクリボンの会
15. 祝 電 披 露
16. ソロプチミスト誓約
17. 閉会宣言・点鐘 会 長 吉田 富士

## 記念講演

# 『ママ・キシダの熱意がアフリカの生活を変えた』 ～お手本は岩手の「かまど」と「草履」～

菊池 弥生氏(遠野市出身)

### 【菊池弥生氏 プロフィール】

- 学 歴** 駒沢大学文学部卒業  
アジア・アフリカ語学院スワヒリ語科修了  
英国レスター大学院博物館学研究科博物館教育専攻修士課程修了
- 略 歴** 在日ケニア大使館 大使秘書  
国際協力機構(JICA)派遣 ケニア国立博物館専門家  
文部科学省派遣 ナイロビ日本人学校国際交流ディレクター  
遠野市立博物館 研究員  
NPO法人「少年ケニアの友」ケニア事務所ディレクター
- 現 職** 遠野文化研究センター 研究員  
NPO法人「少年ケニアの友」理事
- 受 賞** 第1回 遠野文化奨励賞(2011年)  
「魔法のような Kamado Jiko -アフリカの生活を変えた遠野のかまど」



## ママ・キシダの熱意がアフリカの生活を変えた

- お手本は岩手の「かまど」と「草履」<sup>そうり</sup> -

岸田袈裟<sup>きしだけま</sup>さん（1943 - 2010）は、岩手県遠野市で生まれました。大学卒業後、食物栄養学の研究者として、アフリカの食生活を調査するためケニアを訪れます。ケニアで結婚後は、「JICA 専門家」および「少年ケニアの友」の副理事長として、栄養指導、衛生指導、奨学金給与、エイズ予防教育、生活改善、薬草普及、環境教育、森林保全、図書館設立に至るまで、幅広い分野で活動を展開しました。



岸田さんが普及した岩手の「かまど」

岸田さんはアフリカの村人からはママ・キシダと尊敬され、日本とアフリカの架け橋として活躍しました。岸田さんは、電気もガスもない農村に最先端の機材や技術は役立たないと判断し、日本に伝わる伝統技術や生活の知恵をアフリカ風に改良して指導をすることにしました。



岸田袈裟さん

アフリカの多くの国々では、現在でも地面に石を3つ置いただけの三つ石かまどで煮炊きをしています。岸田さんの最大の功績は、幼い頃に岩手で使われていた「かまど」をケニアに紹介したことです。材料は、家のそばにある粘土・レンガ・

石です。この「かまど」は熱効率が良く、燃料の薪が4分の1に節約されたこと、一度に3つの料理ができること、幼児の火傷防止、女性の腰痛軽減などいろいろな効能があるため、魔法のような道具としてケニアはもちろんのこと、隣国のタンザニア、ウガンダにまで普及しました。

また、村人たちは川の水を飲んでいましたが、家畜の排泄物が混じっているなど衛生状態は最悪でした。そのため、セメントの箱に小石や砂を入れて水をろ過する「湧水浄化槽」を設置し、きれいな水を飲めるようにしました。水を「かまど」で煮沸して飲むように指導した結果、乳児死亡率が激減し、大人の病気も減りました。

ケニアの田舎では裸足で生活をしています。岸田さんは、岩手のおばあさんから「草履」<sup>そうり</sup>の作り方を教えてもらいました。畑にあるトウモロコシの皮などを利用して「草履」の作り方を指導し、子どもたちや村人の足を細菌から守る衛生教育も行いました。



トウモロコシの皮で草履を作る子どもたち

岸田さんは、アフリカの農村は50年前の日本の姿ということに着目し、アフリカの人々に日本人の心と「かまど」や「草履」などの伝統技術を着実に浸透させることに成功しました。岸田さんのようにアフリカ

の国々にお金やモノを援助するのではなく、現地で調達できる材料を利用するという姿勢は、貧しいアフリカの人たちに役立つ本当の国際協力と高く評価されました。昔の日本人が持っていた伝統文化を伝える草の根レベルでの支援が、新しい国際貢献として見直されています。



## 略 歴

1943年	岩手県遠野市生まれ
1965年	相模女子大学学芸学部食物学科卒業
1966年	食糧業研究所勤務、川島四郎博士の助手
1973年	第1回ケニア食物栄養調査
1974年	第2回ケニア・タンザニア・エチオピア食物栄養調査
1975年	宝石鉱山実業家岸田信高氏と結婚 ケニア在住 長女誕生
1979年	長男誕生
1981年	夫信高氏と共に、孤児院への食糧支援開始
1983年-1993	NHK ラジオ海外リポーター
1983	ケニヤッタ大学、ナイロビ大学における栄養・糖尿病調査参加 東京外国語大学「アジア・アフリカ言語文化研究所」学外研究員
1985年	NGO「少年ケニアの友」の設立
1986年	神戸薬科大学「薬草・薬木調査隊」参加 岩手医科大学「生化学教室」研究生
1993年	JICA「人口教育促進プロジェクト」短期専門家
1994年-1998年	JICA「人口教育促進プロジェクト」コミュニティ・開発専門家
2000年-2003年	JICA「地域住民、生活改善指導」個別専門家
2001年	「昆虫食調査」参加
2004-2010年	NPO 法人「少年ケニアの友」副理事長就任 西ケニア・キスムに事務所設置
2008-2010年	相模女子大学 客員教授
2010年	逝去 享年 67歳

## 栄 誉

1996年	国際ソロブチミスト「女性が女性を助ける賞」
2002年	国際ソロブチミスト「千嘉代子国際賞」
2004年	遠野市民特別賞
2005年	社会貢献支援財団、社会貢献賞
2007年	第14回読売国際協力賞
2007年	遠野市民栄誉賞

## 業 績

衛生教育	「改良かまど」の普及指導 「湧水浄化槽」の普及指導 「草履」の普及指導
食物栄養教育	西ケニアの野生種野菜、伝統薬草、薬木の分析、効果の調査、栽培利用、植林の指導
環境保護教育	カカメガ熱帯雨林地帯およびキリマンジャロ山麓 (タンザニア)の固有動植物保全教育
HIV/AIDS 予防教育	西ケニア、ビクトリア湖、スバ県内の4島で、ボートによる巡回医療 HIV 血液検査・抗レトロウイルス剤配布 HIV 感染者グループへの栄養指導、生活改善指導 リンギティ島にクリニック建設 キボキ島にエイズ孤児たちのための、幼稚園兼用の多目的教室建設
子ども教育	奨学金の支給 「アフリカ子どもの本プロジェクト」と共に「夢の図書館」2カ所に設立

## 執筆活動

「食生活の知恵」沖縄サンデータイムズ  
1969-1970年  
「菜食入門」池田書房 1971年  
「まちがい栄養学」川島四郎著 解説  
1985年  
新聞、雑誌記事など

岸田袈裟さんの紹介文「ママ・キシダの熱意がアフリカの生活を変えた」を執筆いただきました菊池弥生様、パネル写真および解説パネルの提供をいただきました岸田様のご家族、NPO 法人「少年ケニアの友」(理事長 千葉峻三様)、「国際ソロブチミスト盛岡」のご協力に感謝致します。